

17日のバザーに支度を終えて自宅に戻ると、市長からの緊急FAX。
「15日付の日本経済新聞に、名鉄支援の記事が出ましたが、
この内容は、西尾市から発信したものではなく、また、支援金が
3億円というも事実ではありませんので、取り急ぎ、連絡します。」
とあります。

さらに、
「現在、支援金については協議中ですが、まとまり次第、報告します。
11月中には、名鉄西尾・蒲郡線対策協議会総会の開催を計画して
います。」とのこと。

中日新聞が、辛口の折込みを拒否してから、我が家では、
日経新聞の購読をやめているので、別途、記事を確認しましたが、
赤字2路線「西尾線と蒲郡線」との表示。
10年間で2割の減少とありますが、去年からは、若干ながら増加も
しているし、てこ入れもなされているところです。

しかし、一方的な記事としては、何とも面妖。
名鉄への支援は、私もやぶさかではありませんが、
名鉄側からは、市に対して、十分な財政状況のデータ資料が提供されて
いません。

今年の春には、名鉄幹部と議会との懇談会もあり、その席で、私たちも
8億円赤字というが、詳細な資料提出を出してほしいと要望しましたが、
なしのつぶてです。

吉良吉田から蒲郡までの赤字ばかり強調するのではなく、
新安城から蒲郡までの、区間ごとの収入と支出も出してもらわないと
きちんとした判断はできないと、私は考えています。

名鉄は、どこの鉄道会社でも、細かな資料は出さないといいますが、
税金投入となれば、それは通用しないでしょう。

しかし、上記の文面だと、なんだか、名鉄の言いなり…の感あり
ではないでしょうか。
みなさん、いかがお考えですか？